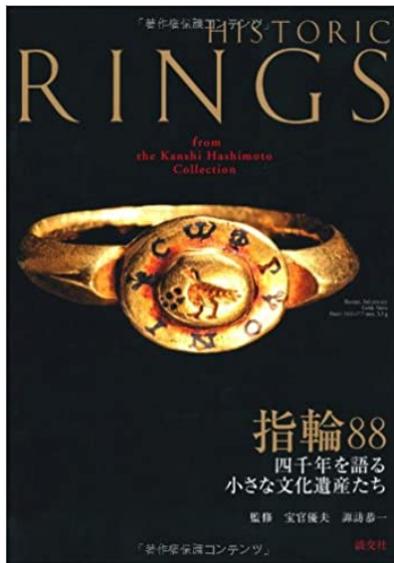


## 「指輪 88 四千年を語る小さな文化遺産たち」



監修：諏訪恭一 宝官優夫

定価：2,200 円＋税

単行本：223 ページ

出版社：淡交社 (2011/5/20)

言語：日本語

ISBN-10: 447303738X

ISBN-13: 978-4473037381

発売日：2011/5/20

梱包サイズ：21 x 14.8 x 1.6 cm

本書でご紹介する指輪は、紀元前 2000 年から現代にいたるまでの、およそ 4000 年にわたる「橋本貫志コレクション」のうちの 88 点です。

これらの指輪は、肌に最も近いところにあったゆえ、王、神職、商人、貴族、淑女たちのぬくもりや営みを感じさせてくれます。そして私たちを何千年前、何百年前の世界へといざない、当時の交易、技術、文化を語ってくれます。

指輪は「人の想いを入れておく箱」です。目で見たり、手に取ったりすることのできない「想い」を確認し、人に伝えることが出来る言葉のようなものです。だからこそ、先人たちは指輪を、幸せ、信用、愛、庇護、所属の証として大切に身につけてきました。本書を通じて私たちは、指輪はおしゃれの道具であるばかりでなく、人類が脈々と受け継ぐ文化であり、さまざまな意味を持つ存在であると感じとることができるでしょう。愛用されている指輪に一層の価値を見出して頂ければ幸いです。

～はじめに～より

まずこの本の全てが橋本貫志さんという個人のコレクションであることに感動します。指輪のアップがそれぞれにあり、実際にルーペで見たように分かり感激です。時代ごとに分けられていて、指輪にまつわる物語を読んでいるうちに、古代から、現代まで旅をした気分になりました。